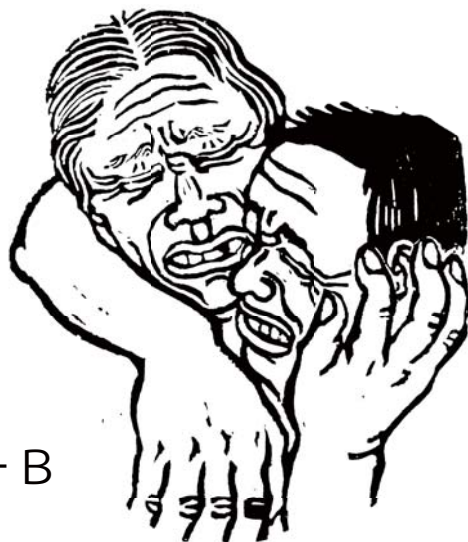


# 民衆／美術－版画と社会運動

*Art for People : Printmaking and Social Movements*

2012年 9月 20日(木)～ 12月 11日(火)

福岡アジア美術館 7階 アジアギャラリーB



## ◇ 概要

本展は、韓国の「民衆美術」の運動に参加したミン・ジョング、キム・ボンジュン、ホン・ソングム、そして近年の政治的行動主義を示すイ・ユニョプの版画作品を紹介します。(キム、ホン、イは新収蔵作品です。)

アジア各地では、1930年代に魯迅らの主導によって中国各地で展開した「木刻運動」をはじめ、木版画を中心とする版画が、政治運動・社会運動と密接に関わりながら展開しました。木版画は安価で入手しやすい材料・道具だけで制作でき、簡潔にして力強い表現を生み出せるため、また高度な技術がなくとも、同じ版から多数制作でき、印刷原稿にも使うことができるため、民衆が広く社会にメッセージを届けるには適切な手段だったのです。

この「木刻運動」とは異なる政治・社会・文化状況から生まれたのが、1980年代韓国の「民衆美術」における版画運動です。1980年代初頭に生まれた民衆美術は、権威化した写実主義や欧米モダニズムの直輸入を批判することから出発し、当時の韓国社会を生きる民衆の立場から自らの現実を見つめ、その原因や背景をえぐり出し、現実を批判的に乗り越える美術表現を探求しました。独裁政権や大企業による民衆の政治的・経済的・文化的な抑圧に対抗して民主化と民族の自立を求める運動が韓国中で高揚していくと、各地に生まれた美術グループは、

しばしば機関誌を発行したり、大学や工場、集会やデモの場所での壁画やコルゲクリム（大型の掛け絵）、キップルクリム（旗のように掲げる絵）などを、学生や労働者との共同作業によって、多数制作しました。制作・複製・流通が容易な木版画も、多くの美術作家が制作しただけでなく、版画講習会が各地で開催されることによって、民衆主体による表現と発信の回路が作られていきました。

本展でご紹介するミンは、現実への直視と大衆とのコミュニケーションを求めることで民衆美術の誕生を告げたグループ〈現実と発言〉のメンバーでした。キムとホンは、それぞれ〈トゥロン〉〈光州自由美術人協議会〉というグループを設立し、コルゲクリム等の制作、版画による印刷物制作や頒布、版画教育やワークショップ、また伝統的な仮面劇の演出・制作など、「現場美術」としての民衆美術の可能性を十全に開拓した重要作家です。特にホンによる、光州民主化抗争を題材とした版画は、膨大な民衆美術の実践のなかでも記念碑的傑作として知られています。民衆美術が民主化の達成によって変容ないしは終息した後に活動を始めたイ・ユニョプも、米軍基地や大企業による再開発、不当解雇に抵抗・抗議する労働者や地域住民たちを美術的手段で支援しています。

本展によって、版画という表現手段が、美術館やギャラリーという枠を超えて、アジア特有の政治・社会・文化に関与していく可能性について考えていただければ幸いです。

## ◇ 出品作家

### ① ミン・ジョンギ（閔晶基）

Min Joungki 민정기 1949 ~

韓国・京畿道安城生まれの画家。1972 年、ソウル大学西洋画科卒業。1979 年に〈現実と発言〉結成に参加。キッチュな大衆絵画や都市、広告のイメージを組み合わせた作品を制作、近年は「実景山水」としての風景を描く。1989 年、第 3 回アジア美術展（福岡市美術館）に出品。2004 年、マロニエ美術館で回顧展。2007 年、「民衆の鼓動 韓国美術のリアリズム 1945-2005」（福岡アジア美術館ほか）に出品。

### ② キム・ボンジュン（金鳳駿）

Kim Bongjun 김봉준 1954 ~

韓国・ソウル生まれの画家・版画家・彫刻家。1980 年、弘益大学美術学部卒業。大学時代から仮面劇サークルに参加、また仏画を学ぶ。1977 年に女工の労働条件改善のための劇を製作。1982 年、美術グループ〈トゥロン〉を創立、コルゲクリム制作などにより労働者の闘争を支援する。今も原州で農民の生活に密着した活動が続ける。2007 年、「民衆の鼓動」展に出品。2011 年、Gallery MAKI（東京）で個展。現場美術系「民衆美術」の重要作家のひとり。

### ③ ホン・ソンダム（洪成潭）

Hong Sungdam 홍성담 1955 ~

韓国生まれの画家。1979 年、朝鮮大学（光州）美術学部卒業。1979 年に〈光州自由美術人協議会〉を結成。1980 年 5 月、光州民主化抗争で文化宣伝隊として活動。1985 年、光州で視覚媒体研究所設立。1989 年、スパイ国家公安法違反嫌疑で逮捕・投獄される。95 年、第 1 回光州ビエンナーレに出品。2007 年、「民衆の鼓動」展に出品。2010 年、光州市立美術館で回顧展。現場美術系「民衆美術」の重要作家のひとりで、今も国家暴力の問題を問いつける。

### ④ イ・ユニョプ（李允燁）

Lee Yunyop 이윤엽 1968 ~

韓国・水原生まれの版画家。水原大学西洋画科卒業。肉体労働者として働いた経験から主に労働者と農民の人生の哀歓を描く。2005 年から米軍基地闘争が行なわれていたテチュリに住み住民の闘争や生活に取材した作品を制作。龍山惨事のプロジェクトの後、2010 年に〈派遣美術〉を結成し、韓進重工業闘争などで地域住民や労働者を支援する活動が続ける。2007 年、「民衆の鼓動」展に出品。2011 年、佐喜眞美術館（沖縄）で個展。

## ◇ 出品作品 4 作家・75 点

ミン・ジョンギ 『森に向かう扉』（1986） リトグラフ 4 点

キム・ボンジュン 『お母さん、ただいま』（1981）『四月の歌』（1983） など 木版、シルクスクリーン 14 点

ホン・ソンダム 版画集『夜明け』（1981～89） 木版、ゴム版 51 点

イ・ユニョプ 『エバーランドで、キムさん』（2005）『鶏頭の花畑で（龍山復活図）』（2010） など 6 点